

令和7年度始良・伊佐地区研究協力校「道德教育」 霧島市立天降川小学校道德教育研修会

1 研究主題

(1) 地区研究主題

「考え、議論する道德」に向けた授業の在り方

(2) 会場校研究テーマ

学び合いを重視した、主体的・対話的な授業の創造
～考え、議論する道德の授業づくりを通して～



【研究発表の様子】

2 研究発表

霧島市立天降川小学校では、令和6年度から2年間にわたり、地区指定研究協力校として、研究・実践に取り組んできました。研究発表では、「聴き合う関係づくり」や「学び合いのある授業」、道德科における「価値観」「児童観」「教材観」を明確にした授業づくりや「学び合い」の在り方、道德的価値に目を向けた授業参観、良質な「問い」を追究する取組等について紹介がありました。また、全教員が参観可能（主に学年部を中心に参観）な相互授業参観による日常的に語り合える同僚性の構築についても紹介されました。

3 研究授業

2年生、4年生、5年生の3学年で研究授業を行いました。

2年生では、加藤歩教諭が「なまけにんじゃ」という教材を使って授業を行いました。ねらいとする価値について深く考えさせるために、心情メーターを活用して心情を可視化しました。それを基に子供たちは、「しっかりとやり抜く心」について、自分なりの根拠をもちながら話し合い、多様な考えに気付くことができました。



【2年生の授業の様子】

4年生では、宇都太貴教諭が「新次のしょうぎ」という教材を使って授業を行いました。中心発問で、子供たちは、自分の名前カードを黒板に貼ることで自分の立場を明確にしていました。その後の意見交流では、名前カードを基に、自分と近い考え、異なる考えをもった友達と話し合うことで、「正直な心」について多面的・多角的に捉えることができました。



【4年生の授業の様子】

5年生では、甲斐朱莉教諭が「折れたタワー」という教材を使って授業を行いました。「登場人物の中で一番広い心をもっているのは誰か」という問いに対して、子供たちは自分なりの理由をもち、意見を交流していました。その後、「広い心」とはどういうことなのか、互いの考えを交流することで、「広い心」について多面的・多角的に捉えながら深く考えることができました。



【5年生の授業の様子】

4 分科会

分科会では、2年生、4年生、5年生に分かれ、授業研究・研究協議を行いました。授業研究では、会場校研究テーマに沿って、「充実した対話活動を通して、子供たちは自らの考えを深められているか。」について意見交換を行いました。研究協議では、「考え、議論する道徳」の充実に向けた授業の在り方をテーマに、各学校の取組や日頃の授業の工夫等について、グループで意見交換を行いました。以下は、研修会参加者の感想です。

【2年生】

- この時期の授業発表なのに、2年生の児童はとても活発に対話を行って、さらに先生の話の聞くときはしっかり聞いている様子が見られ、普段の学級経営が素晴らしいと思いました。対話の仕方については、本校でも参考にさせていただきたいと思います。
- 今日はありがとうございました。先生と子供たちの温かい雰囲気伝わりました。子供たちがよく考えて発表していました。心情メーターやシーソーなど、子供たちにとって分かりやすい具体物があり、見ていると分かりやすかったです。自分も使ってみようと思いました。
- 切り返しの発問をたくさんされていて、子供たちが考えを深められる授業でした。素直に発言をしても大丈夫と安心できるようなクラスの雰囲気で、これまでの教師の学級経営の凄さも実感しました。

【4年生】

- 子供たちが自分の考えを積極的に友達に伝えつつ、相手の考えを否定せず、最後まで聞いている姿が素晴らしかったです。学級全体によりよい価値をめざそうとする雰囲気が伝わってきました。
- 誰にも経験ある「ずる」を題材に、自分の経験から登場人物の気持ちを投影して自分事として考えることができていた授業だったと見ていて思いました。身近な出来事から本題につなげ、どうしていくとよいかを個人で答えを見つけさせることが道徳の授業で大切なのだなと感じました。
- アンケート結果を基に授業を進めることで子供たちが自分事として捉えられていてとてもよかったと思います。話合いの形態もグループや自由に動き回る、また立場の違う同士で再びグループになり意見を深められていてとてもよいと思いました。

【5年生】

- 充実した対話活動でした。誰かが言うとそのに対して子供たちが「おお」とか「ああ」とか反応したり、「どうしてそう思ったの」と子供同士で聞き合ったりしていました。また、自分だったらと自分事として考えたり、振り返りでも今〇〇だったから、△△していきたいと自分の生活を見つめ返したりしていました。とても素敵な授業でした。
- 子供たちがお互いの考えをよく聞き、よく反応し、よく考えていた姿が印象的でした。考えなくなる発問で、子供たちが自分の思いや考えを伝えて、迷って、新たに考えを形成しているように見えました。
- 子供たちが「広い心」について考える時間が十分確保されており、また友達の意見をきちんと聞いた上で自分の考えを深めることができていて素晴らしい授業でした。